



高光沢・真の光沢およびミラークロームシリーズのビニールフィルム施工時のキズ処理について

：PVC カー用ポリ塩化ビニルフィルムの固有特性により、以下の状況が発生しやすい

温度が高すぎると、施工時にビニールフィルムがキズつきやすく、回復速度が遅いため、目立つキズが残る。

ハイグロス・ミラー仕上げの特殊表面効果は傷がつきやすい特性がありますが、施工時に使用するスクイージーの圧力や粗さも傷の原因となる重要な要素です。

これらの問題に対処するため、以下の解決策を推奨します：

施工温度を管理する。ビニールフィルムは 22℃の温度で施工し、温度を一定に保つことが望ましいです。

比較的新しい高品質のスクイージーを使用する。スクイージー両面にウールフェルトまたはフォームペーパーを貼り付け、キズのリスクを低減する。

フィルム表面とスクイージー接触部に潤滑剤を塗布する。ウールフェルトを湿らせるため泡状水を塗布し、フィルム表面にも泡状水をスプレーする。

施工後にビニールフィルムに細かいキズが生じた場合、ワックス塗布で除去可能。この目的には専門ケア製品の使用を推奨する。

ビニールフィルムを 1～2 日間自然日光に晒すことで、キズは自然に軽減・修復されます。

施工時は高密度繊維パッチ付きソフトスクイージーの使用と、適切な潤滑を確保することを推奨します。

ハイグロスおよびミラークロームシリーズのビニールフィルム施工時、キズ発生を最小限に抑えるため、これらの推奨事項を遵守することが重要です。